



エコアクション21
認証・登録番号 0000099

環境活動レポート

2012年7月～2013年6月期



Soai co.,ltd.

株式会社 相愛



目次

1. 組織の概要.....	1
2. 対象範囲（認証・登録範）、対象期間及び発行日	2
3. 環境管理組織体制.....	2
4. 環境方針	4
5. 環境目標	5
6. 環境活動計画	6
7. 環境目標の実績	7
8. 環境活動計画の取組結果とその評価	8
9. 次年度の環境活動計画.....	9
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無.....	10
11. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	11



発行日：平成25年12月3日

発行責任者：竹崎 博秀

次回発行予定：平成26年9月下旬頃

1. 組織の概要

(1) 事業所名

株式会社 相愛 本社：高知県高知市重倉 2 6 6 - 2
愛媛支店：愛媛県松山市朝生田町 7 - 1 2 - 1 0

(2) 代表者氏名

代表取締役社長 永野敬典

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 竹崎博秀 / 連絡先担当者 高橋 エミ

電話：088-846-6700 FAX：088-846-6711

E-mail：head-office@soai-net.co.jp

(4) 事業内容

建設業、建設関連業(主に地質調査業)、技術サービス業(木質バイオマス事業)

【所属団体と登録（許可）】

建設業

許可番号：国土交通大臣 許可 特 23 第 844 号

有効期限：平成 23 年 5 月 22 日から平成 28 年 5 月 21 日まで

建設業の種類： 土木工事業／とび・土工工事業／さく井工事業／水道施設工事業

地質調査業

更新年月日：平成 24 年 11 月 30 日

登録番号：質 24-第 107 号

建設コンサルタント業

更新年月日：平成 21 年 4 月 13 日

登録番号：建 21-第 614 号

登録部門：河川、砂防及び海岸・海洋部門／地質部門／土質及び基礎部門

測量業

登録年月日：平成 21 年 12 月 23 日

登録番号：登録第 (12) -1920 号

(5) 事業規模

資本金：2,100 万円

年度		2010 年度	2011 年度	2012 年度
売上高(百万円)		686 百万円	628 百万円	727 百万円
従業員	本社	38 名	39 名	43 名
	愛媛支店	6 名	6 名	5 名
延べ床面積	本社	2,100 m ²	2,100 m ²	2,100 m ²
	愛媛支店	190 m ²	190 m ²	190 m ²
敷地面積	本社	21,119 m ²	21,119 m ²	21,119 m ²
	愛媛支店	372 m ²	372 m ²	372 m ²

2. 対象範囲（認証・登録範）、対象期間及び発行日

(1) 対象範囲

株式会社 相愛 全社

本社：高知県高知市重倉 266-2

愛媛支店：愛媛県松山市朝生田町 7-12-10

(2) レポートの対象期間

平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月

(3) レポートの発行日

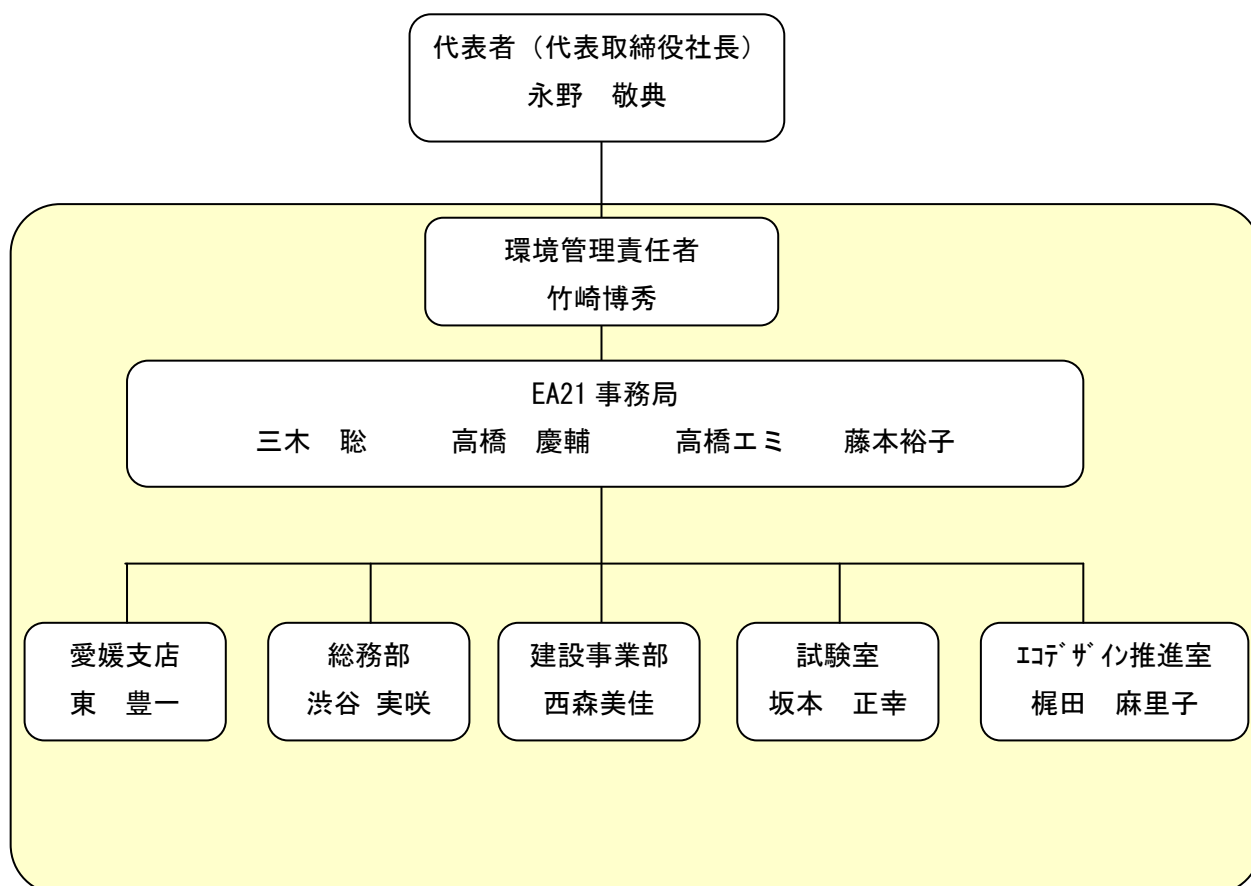
平成 25 年 12 月 3 日

(4) 作成責任者

環境管理責任者 竹崎博秀

3. 環境管理組織体制

(1) 組織体制



(2) 各役職の役割

役名	役割
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知確認 ・環境目標・環境活動計画書の承認と代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認し、環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成・遵守評価の実施 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所都支店に備付と地域事務局への送付） ・全社員を対象とした教育訓練の実施 ■広報担当 <ul style="list-style-type: none"> ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境方針や役割などの社内連絡・全従業員への周知 ■データ管理 <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施（現場編と事務所編）と環境活動の実績集計
各部担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告、及び問題点の発見、是正、予防処置の実施（内部監査の実施）
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境方針

当社は、日々の事業活動において環境への負荷低減を進めるとともに、地域資源を活かした地域活性化の実現に貢献します。

① 法規制の遵守

我々は事業に係る環境関連法規制を遵守し、また、法規が改正された場合は、その内容を従業員に周知することを徹底します。

② 低炭素社会の実現

我々は事業活動を通じ、温暖化ガスの削減に努めるよう、燃料や電力使用量の削減に努めると同時に、社内外に向けて、低炭素社会の実現に向けた啓発活動及び情報提供を積極的に行います。

③ 廃棄物の削減

我々は事業活動を通じて事業所や作業現場から排出される廃棄物の量を削減すべく、努力いたします。

④ 排水量の削減

我々は事業所で利用される水が、自然から頂いているものだという認識を強く持ち、余分な水が排出されない様、節水を徹底します。

⑤ グリーン購入の推進

我々はすでにグリーン購入を行っているもの以外に、新たな商品を購入する際は、グリーン購入対象品であるか否かを判断材料とし、積極的に対象商品を使用します。

⑥ 製品またはサービスの環境配慮

我々は環境配慮型商品の開発を進め、積極的にそれらの普及に努めます。

⑦ 地域貢献活動

我々は「地産地消」を積極的に進め、地域内資源を有効に活用し、地域社会が豊かなものとなるような活動を行います。

以上の項目を全社員に周知させるとともに、広く一般に公表します。

改定日：平成 22 年 11 月 5 日

代表取締役社長 永野 敬典

5. 環境目標

(1) 単年度目標値設定（対象期間：平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月）

平成 24 年度の環境活動は、平成 20 年度を基準年とし、各項目削減目標を設定しました。業務の件数や金額、業務内容により総量は変化することから、二酸化炭素排出量と廃棄物総排出量については売上百万円当り、総排水量については対象支店の従業員一人当り、グリーン購入率については基準年との比較ではなく、単年設定を行っています。

項目	単位	H20 年度	H24 年度目標
二酸化炭素排出量 (削減率)※1	kg-CO2/百万円	402.9	322.3 (20%)
廃棄物総排出量 (削減率)※2	Kg/百万円	113.7	102.3 (10%)
排水量 (削減率)※3	m ³ /人	10.2	8.2 (20%)
グリーン購入率※4	%	-	100
環境配慮型商品の販売 数量※5	台	7	20

(2) 中・長期環境目標値設定

中・長期目標としても、上記と同じ理由で、単位当りの目標値のみを設定することとしました。各項目において、平成 28 年までに二酸化炭素排出量 30%削減、総廃棄物排出量 14%削減、総排水量 20%削減を目標としました。その他の項目も下記の通りです。

項目	単位	基準年	目標				
		H20 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
二酸化炭素排出量 (削減率)※1	kg-CO2 /百万円	402.9	322.3 (20%)	302.2 (25%)	294.1 (27%)	286.1 (29%)	282.0 (30%)
廃棄物総排出量 (削減率)※2	Kg/百万円	113.7	102.3 (10%)	102.3 (10%)	100.1 (12%)	98.9 (13%)	97.8 (14%)
排水量 (削減率)※3	m ³ /人	10.2	8.2 (20%)	8.2 (20%)	8.2 (20%)	8.2 (20%)	8.2 (20%)
グリーン購入率※4	%	-	100	100	100	100	100
環境配慮型商品の 販売数量※5	台	7	20	20	20	20	20

※1：事業量により総量が変化するため、二酸化炭素排出量は売上百万円当たりの排出総量を対象とする。

※2：事業量により総量が変化するため、廃棄物排出量は売上百万円当たりの排出総量を対象とする。

※3：社員数により総量が変化するため、総排水量は水道水の使用量とし、単位当たりの総排水量は対象支店の人口当たりとした。

※4：グリーン購入率=グリーン購入対象商品の購入額/OA 紙・名刺・封筒の全購入額×100

※5：環境配慮型商品は自社製品の「木質バイオマスバーナー」を対象とする。

6. 環境活動計画

(1) 対象期間：2012年7月～2013年6月

環境活動として「CO2排出量の削減」、「廃棄物削減」、「排水量の削減」、「環境配慮型商品の販売」「グリーン購入」「地域貢献活動」の6つの項目において、計画を立てました。

(2) 活動内容

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量の削減	燃料使用量削減	エコドライブの実施呼び掛け	EA21 事務局	通年
		車両の積極的な点検の呼びかけ	EA21 事務局	通年
		重機未使用時のエンジン停止の呼びかけ	現場担当者	通年
	電力使用量削減	未使用時の室内照明消灯呼びかけ	EA21 事務局	通年
		エアコンの適正温度設定(夏 28℃、冬 20℃)	EA21 事務局	通年
		空調機器の清掃	各担当者	通年
廃棄物削減	ゴミの分別・計量の実施		全社員	通年
	ミスコピー紙等の再利用の呼びかけ		EA21 事務局	通年
	両面印刷・集約印刷の呼びかけ		EA21 事務局	通年
	運搬・処分委託契約の徹底		竹崎 現場担当者	通年
	処分場の許可・現地の状況確認		竹崎 現場担当者	通年
	マニフェスト伝票による管理の徹底		竹崎 現場担当者	通年
	現場資材等の再使用		竹崎 現場担当者	通年
	金属資源を金属リサイクルセンターへ搬入		竹崎	通年
	紙資源を紙リサイクルセンターへ搬入		竹崎	通年
排水量の削減	節水の呼び掛け		EA21 事務局	通年
グリーン購入	グリーン購入対象商品の積極的購入呼びかけ		EA21 事務局	通年
環境配慮型商品の販売	顧客への環境意識向上に対する呼びかけ		三木	適宜
	環境配慮型商品(自社:木質バイオマスバーナー)の販売		三木	適宜
	更なる環境負荷低減のための製品改良		稲井	通年
地域貢献活動	ロードボランティアの実施		竹崎	通年
	社外等で行われるイベントや取り組みへの参加		高橋	適宜
	現場看板等における間伐材使用製品の利用		竹崎 現場担当者	通年

7. 環境目標の実績

環境目標の実績は下記のとおりです。環境配慮型商品の販売数量以外は目標を達成しました。二酸化炭素排出量は達成率 124%、排水量は達成率 105%と目標を上回り、今後も更に削減ができるよう取組みを進めていきたいと思えます。また、廃棄物総排出量が達成率 349%と大幅に目標を上回りましたが、これは請負工事の受注が減少したため、産業廃棄物排出量が大幅に少なくなった事が要因であると考えられます。こまめなゴミ出しを心がけると共に、一層の分別の徹底と、再資源化を図ります。

(1) 平成 24 年度実績

項目	単位	H20 年度 (基準年)	H24 年度		
			目標	実績	達成率※1
二酸化炭素排出量 (削減率)※2	kg-CO2/百万円	402.9	322.3 (20%)	259.6 (36%)	124%
廃棄物総排出量 (削減率)	Kg/百万円	113.7	102.3 (10%)	29.3 (74%)	349%
排水量 (削減率)※3	m ³ /人	10.2	8.2 (20%)	7.8 (24%)	105%
グリーン購入率※4	%	-	100	100	100
環境配慮型商品の販売数量※5	台	7	20	28	140%

(2) 平成 23 年度、24 年度の環境負荷の目標と実績

項目	単位	H23 年度		H24 年度	
		目標	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量 (削減率)※2	kg-CO2/百万円	342.5 (15%)	278.6 (31%)	322.3 (20%)	259.6 (36%)
廃棄物総排出量 (削減率)	Kg/百万円	102.3 (10%)	18.6 (72%)	102.3 (10%)	29.3 (74%)
排水量 (削減率)※3	m ³ /人	8.2 (20%)	6.8 (33%)	8.2 (20%)	7.8 (24%)
グリーン購入率※4	%	100	100	100	100
環境配慮型商品の販売数量※5	台	20	17	20	28

※1：目標に対する達成率は、 $x = (\text{実績} - \text{目標}) / \text{目標}$ として求める。

※2：電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成19年度)の四国電力の実排出係数0.392kg-CO₂/kWhを使用した。

※3：社員数により総量に変化するため、総排水量は水道水の使用量とし、単位当たりの総排水量は対象支店の人口当たりとした。

※4：グリーン購入率=グリーン購入対象商品の購入額/0A紙・名刺・封筒の全購入額×100

※5：環境配慮型商品は自社製品の「木質バイオマスバーナー」を対象とする。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価

計画していた環境活動への取組みに対して評価と見直しを行いました。

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO2 排出量の削減	燃料使用量削減	エコドライブの実施呼び掛け	急発進、無用なアイドリングが少なくなった。 エコ車の導入。	○	来年度以降も継続
		重機未使用時のエンジン停止の呼びかけ	各現場にて呼びかけと、休憩中の停止確認を実施。	○	来年度以降も継続
	電力使用量削減	未使用時の室内照明消灯呼びかけ	お昼休み、外出時等に消灯を実施。	○	来年度以降も継続
		エアコンの適正温度設定(夏28℃、冬20℃)	各棟に温度計を設置。不定期での確認ではほぼ訂正温度設定であった。	○	来年度以降も継続
		空調機器の清掃	社内美化デー・年末の大掃除に実施	○	来年度以降も継続
廃棄物削減	ゴミの分別・計量の実施	紙、可燃ごみは月1回ゴミ出し日に実施。回収業者によるゴミの量はマニフェスト管理票で確認。	○	来年度以降も継続	
	ミスコピー紙等の再利用の呼びかけ	各部署ともに徹底されている。	○	来年度以降も継続	
	両面印刷・集約印刷の呼びかけ	両面印刷は徹底されているが、集約印刷の意識が徹底されていない。	△	各棟担当者による呼びかけを実施	
	運搬・処分委託契約の徹底	本社・各現場ともに徹底されている。	○	来年度以降も継続	
	処分場の許可・現地の状況確認	本社・各現場ともに徹底されている。	○	来年度以降も継続	
	マニフェスト伝票による管理の徹底	本社・各現場ともに徹底されている。	○	来年度以降も継続	
	現場資材等の再使用	各現場で徹底されている。	○	来年度以降も継続	
	金属資源を金属リサイクルセンターへ搬入	年1回実施。	○	来年度以降も継続	
	紙資源を紙リサイクルセンターへ搬入	月1回ゴミ出し日に実施。	○	来年度以降も継続	
排水量の削減	節水の呼び掛け	各事業所、各現場で徹底されている。	○	来年度以降も継続	
グリーン購入	グリーン購入対象商品の積極的購入呼びかけ	備品購入は基本的に一元化されており、商品カタログのエコ対象商品から選ばれている。	○	来年度以降も継続	
製品またはサービスの環境配慮	顧客への環境意識向上に対する呼びかけ	顧客に対し、化石燃料に替えて木質エネルギーを使う事が温室効果ガス排出の大幅削減と地球環境の保全につながることを継続的にアナウンスした。	○	来年度以降も継続	
	環境配慮型商品の販売	木質バイオマスボイラーが、28台導入された。 (目標:20台)	○	来年度以降も継続	
	更なる環境負荷低減のための製品改良	直接的な改良ではないが、製品に係わる部材を極力県内で調達及び製造することで輸送の際に発生する温室効果ガスを抑制している。	○	来年度以降も継続	
地域貢献活動	ロードボランティアの実施	年間10回実施され、のべ84名が参加。	○	来年度以降も継続	
	社外等で行われるイベントや取り組みへの参加	秋のおもてなし一斉清掃参加など。	○	来年度以降も継続	
	現場看板等における間伐材使用製品の利用	各現場で徹底されている。	○	来年度以降も継続	

9. 次年度の環境活動計画

活動期間：2013年7月～2014年6月

今期の環境活動への取組結果を踏まえて、次期の環境活動の内容を策定しました。

以前までの項目に更に具体的な内容を加え、次年度の活動に取り組みます。

項目	活動内容	担当者	期限	
CO2 排出量の削減	燃料使用量削減	エコドライブの実施呼び掛け	EA21事務局	通年
		重機未使用時のエンジン停止の呼びかけ	EA21事務局	通年
	電力使用量削減	未使用時の室内照明消灯呼びかけ	EA21事務局	通年
		エアコンの適正温度設定(夏28℃、冬20℃)	EA21事務局	通年
		パソコン関係の節電 (未使用時のシャットダウンや退社時の個別タップスイッチを切る等)	EA21事務局	通年
		空調機器の清掃	全社員	通年
廃棄物削減	ゴミの分別・計量の実施	全社員	通年	
	ミスコピー紙等の再利用の呼びかけ	EA21事務局	通年	
	両面印刷・集約印刷の呼びかけ	EA21事務局	通年	
	運搬・処分委託契約の徹底	竹崎 現場担当者	通年	
	処分場の許可・現地の状況確認	竹崎 現場担当者	通年	
	マニフェスト伝票による管理の徹底	竹崎 現場担当者	通年	
	現場資材等の再使用	竹崎 現場担当者	通年	
	金属資源を金属リサイクルセンターへ搬入	竹崎	通年	
	紙資源を紙リサイクルセンターへ搬入	竹崎	通年	
排水量の削減	節水の呼び掛け	EA21事務局	通年	
グリーン購入	グリーン購入対象商品の積極的購入呼びかけ	EA21事務局	通年	
環境配慮型商品の販売	顧客への環境意識向上に対する呼びかけ	三木	適宜	
	環境配慮型商品(自社:木質バイオマスバーナー)の販売	三木	適宜	
	更なる環境負荷低減のための製品改良	稲井	通年	
地域貢献活動	ロードボランティアの実施	竹崎	通年	
	社外等で行われるイベントや取り組みへの参加	EA21事務局	適宜	
	現場看板等における間伐材使用製品の利用	竹崎 現場担当者	通年	

10.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度	担当者	遵守状況	確認日
			測定時期			
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 (事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理)	1回/年	竹崎 (現場においては現場担当者)	○	2013/10/4
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理、産業廃棄物の委託契約	適宜			
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	1回/年	竹崎 (現場においては現場担当者)	○	2013/10/4
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事への提出	年中			
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	適宜	各現場担当者	○	2013/11/1
		対象機器: 削岩機、空気圧縮機、チップパー	年中			
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	適宜	各現場担当者	○	2013/11/1
		対象機器: プレーカー、空気圧縮機、チョッパー	年中			
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	国土交通省告示第三百四十八号	対策型ステッカー配布の建設機器使用	公共工事の都度	各現場担当者	○	2013/11/1
		対象機器: 小型バックホウ、バックホウ、発動発電機、空気圧縮機	年中			
低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規定	建設省告示第千五百三十六号	対策型ステッカー配布の建設機器使用	公共工事の都度	各現場担当者	○	2013/11/1
		対象機器: バックホウ、削岩機、空気圧縮機、発電機	年中			
高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例	条例第4号	生態系及び景観の保全上の支障を予防、人と自然の共生、地域固有の特性を生かした取組、住民その他関係者への必要情報の提供	公共工事の都度	各現場担当者	○	2013/11/1
			年中			

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

平成24年8月11日よりこれまで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

項目	評価 (○・△・×)	コメント	担当者	期限	見直し結果
環境目標の設定	○	請負工事等の減少に比例し達成されている目標については、設定を見直すこと。	EA21 事務局	1か月以内	
環境活動計画 (印刷量の増加)	△	月締めの財務書類から、印刷費が前年と比較し大幅に増加していると考えられる。ミスコピーの削減はもとより、不要な白黒・カラー印刷を抑制し、無駄に資源を使用しないよう徹底すること。現在は、サーバー上で集計されている個人の使用状況が把握できるのでデータを活用すること。	EA21 事務局	3ヶ月以内	
地域貢献活動	△	ロードボランティアや社内外のイベント等への参加が特定の職員にとどまっており、全社的な取り組みとなっていない。啓発活動を進め、地域貢献活動への理解と参加を進めること。次の見直しで定量的な評価を行うので、判断できるように資料を整理すること。	EA21 事務局	半年以内	
教育訓練	△	環境活動に関連する法令等について、社内教育訓練にて教育を実施すること。特に廃棄物の処理に関しては、法令違反が無いよう教育訓練を行うこと。	EA21 事務局	1年以内	